

オール下ノ江で取り組む「協育活動」 ～すべての「人」「もの」「こと」を巻きこんで～

大分県臼杵市		● 活動名 下ノ江地区ふれあい協議会		● 関係する学校名 臼杵市立下ノ江小学校	
開始年度	平成 21 年度	学級数	6 学級	児童・生徒数	56 人
活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	連携団体・企業等	
ボランティアの数	登録人数 4 人	属性	教職員経験者など		
参考 URL					
● 連絡先		臼杵市教育委員会社会教育課 (臼杵市中央公民館内)		☎ 0972-63-6444	
● 活動の概要・経緯	<p>下ノ江地区では青少年健全育成会の活動として、世代間交流事業など学校の取組と合わせて活動してきた。平成 21 年度に地域内の様々な団体を協力団体として「下ノ江地区ふれあい協議会」を立ち上げ、活動の柱として「地域で子どもを育てる」活動に取り組んでいる。活動の実施主体としては、協議会の中に委員会を設けそれぞれの担当者が企画・運営に携わっている。特に、協議会内の世代交流委員会やよろうちクラブ (総合型地域スポーツクラブ) が中心になって、子供の体験活動や学校と連携した協育活動に積極的に取り組んでいる。</p>				
	<p>● 体制図</p>				

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

地域のコミュニティセンターである下ノ江ふれあいセンターを拠点として、地区のふれあい協議会の様々な活動が行われている。その中でも世代交流委員会が担当する「下ノ江ふれあい子ども広場」では、月 1 回水曜日の放課後、地域人材の協育活動サポーターを中心に、内容によってはゲストティーチャーなど季節に合わせた体験活動を実施している。活動例として、地域の文化財見学・ものづくり・科学教室・クリスマス会などを小学校 1～6 年生が取り組んでいる。

特徴的な活動として、下ノ江小学校を卒業した大学生や専門学校生が夏休みに勉強を教えたり、活動を一緒に取り組んだりする「朝風学級」がある。かつては地域の伝統的な取組だったが、しばらくの間実施が途絶えていたため、平成 15 年に PTA が主体となり復活させた。昼食づくりなどで PTA が協力しているため、学校・家庭・地域が協力した協育活動になっている。

【実施にあたっての工夫】

ふれあいセンターの職員がコーディネーター役となり、学校・家庭・地域をうまくつなげている。ふれあい子ども広場の活動では、市の協育コーディネーターと連携して、昨年度は県事業である子ども科学体験推進事業を活用し、本田技研工業 (株) の協力で HONDA の人型ロボット ASIMO (アシモ) をダンボールで製作した。地域のリーダーが中心となり、活用できる地域資源を有効かつ効果的に利用している。

● 事業を実施しての効果・成果

地域の方が主体となって子供対象の事業を実施することで、様々な活動例が地域の中で蓄積され、運動会など学校行事で取り組む活動にも広がりが出ている。臼杵市全体で取り組んでいる「うすき土曜ふれあい学校」(土曜授業) では、地域の方に指導を受ける田植え活動をはじめ、よろうちクラブとの共催での三世代交流軽スポーツ大会、クリーンアップ大作戦など、地域主体の取組に学校や PTA を巻きこむことで、学校教育に対する理解・協力も得られる機会となっている。子供たちにとっても、地域の方々が自分たちのことを見守ってくれていると感じる機会が増え、健全な成長につながっている。昨年度、土曜授業に参加した地域や PTA の方々は 360 人ほどだった。みんなの「思い」「願い」「心」が響きあう「協育」の好例となっている。

● その他

※生涯学習委員会が担当の高齢者教室「下ノ江ふれあい学園」の学級生がこの活動のあらゆる場面で活躍している。



下ノ江ふれあい子ども広場
「ダンボールでアシモを作ろう」



よつこそ先輩「朝風学級」
下ノ江小を卒業した大学生が夏休みに
勉強を教えてくださいます。